

如之何

第 14 号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 中村 信男
編集人 松村 清見
港北区新羽町2445
☎ (542) 7681

街づくりに

新羽駅周辺街づくり協議会会長 岸 寿雄

平成五年三月に地下鉄三号線の開通により、企業、マンション等の進出による人口の増加に伴い、会の重要性は増すものと思われ、此の頃に「新羽駅周辺街づくり協議会」が発足し、農地、住宅、工場の混在している現状からミニ開発の防止、歩行者の安全を図る為に歩道の整備等、将来の明るい環境の街づくりに努力してまいりました。

平成八年四月には皆様のご協力を頂き建築協定が結ばれました。



地下鉄三号线 新羽駅

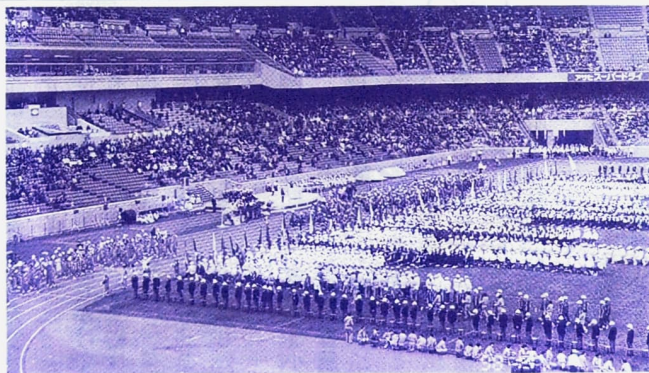
生かして活力ある地区に、住宅地区は良好な環境を備えた地区に、住工地区は都市型の活力ある地区に、それぞれ整備して行き度いと考えて居ります。

街づくりの中で、いささかでも福祉に貢献出来ますことは努力を
してまいります。新羽地区は、
三号線の建設、道路網、公園等の
整備に膨大な工事費が捻出され、
急激な開発がされましたが、それ
に共なう公共施設が非常に少ない
ので今後色々と希望があります。
小公園作りや公衆トイレの設置等
心つくして行き度いと思います。

近年は特に少子化により、老人介護等が大変な問題となつて居りますが、自らの健康管理が大切と深く感じて居ります。いかに施設や環境が整備されて居りましても地域の方々、近隣の人々の福祉に対する理解、尊敬の念、温かくやさしい気持ち^が特に必要と感じております。

全国身体障害者スポーツ大会
参観して

昨年三月に完成致しました横浜国際総合競技場で、国体の後に「かながわ・ゆめ大会（第三十四回全国身体障害者スポーツ大会）」が十一月七日・八日に開催されました。フィールドに、全国からおおよそ三千人の選手とその三倍位の役員ボランティアの人達が、又、スタウンドには、選手の家族や友人、日頃ボランティア活動にたずさわっている人達が大勢おりました。



選手入場行進

まことにまった楽しい大会のためか選手達は障害があっても、各競技に元氣一杯に競っていました。

特に開会式のマスゲームはみごとで観衆から大きな拍手がおくられました。

新羽地区社会福祉協議会

[illegible]

己卯 茂呂 勝治
(大竹町内会)

私の生まれた当時から、大竹町は調整区域ということもあり、周囲に畑が多く、今もその姿は変わらない。しかし、地下鉄が延長されたことにより、駅周辺は驚く程ひらけて便利になったことは喜ばしい。今後ますます発展して欲しい。私が新羽の町を、嫌なところを見つけるのに苦労する程、愛している。それは、静かで自然も多く住民の人柄も良く、とても住み良い町だからである。欲を言えば、少し離れた地域には、公園などの安心して散歩できる場所があるが、自宅周辺には少ないので、できれば

ち前の図々しさか、地域の行事にも参加し、知り合いがさらに増えてきたことは、嬉しい限りである。行事一つをするにも関係者の準備や努力があつて出来るたいへんな事であるが、お手伝いをした私には、いろいろな分野の人達と知り合いになれば、目に見えないご褒美を頂いたような気がしている。人と人とのつながりを大切にしている地域の行事、恵まれた自然環境、素朴な人々。いつまでも、今のままであつてほしい。

に便利になりました。結婚して家庭に入り、最近では健康の為にと、よく散歩するようになり、道端の小さな花や、名も知らぬ木々に立ち止まり、自然と触れ合う事に心がなごみます。「発展」それは人が生きて行く上で必要不可欠なものなのかも知れません。自然と共存しつつ発展できたら素晴らしい事だと思います。

己卯 秋元 織江
(中央町内会)

私は、平成九年秋に、新羽に引っこして来ました。最初は、友だちも知っていない人いかなかったもので、よく一人でいました。でも転校して来て二、三日目に、色々な子が話しかけてくれました。その時は、ほっとしたし、うれしかったです。私は、そんなやさしい人が、これからずっと新羽にいてほしいと思います。

女性消防団員は、平成七年一月十七日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、地域社会における女性の力を消防団組織の中で生かし、消防団の活性化と消防力の強化を図ることを目的として、港北消防団では平成十年度に三十名が採用されました。その内新羽町の女性消防団員には五名が採用されました。活動としては基本的には男性消防団員と同様ですが、災害現場では主に次の活動を実施します。

辛卯 小山 信子
(中之久保町内会)

「あつ、お久しぶり、元氣だつた……」
時々、新羽駅近くで買い物に行くと、知り合いの何人かと、声をかわす。
新羽に嫁いで来て二十余年がたち、近所の人達や、子どもの学校での付き合いも多いけれど、私の持

子供の頃は、田んぼや畑が回りにたくさんあつて、近くの小さな川では、メダカやザリガニとりができたものでした。
新羽の良さは、自然がたくさんある事だと思つていましたが、ふと、気がつくとい川は埋め立てられ田んぼや畑はほとんどが住宅に様変わりしてしまいました。道路が整備され、地下鉄も開通し、スーパームできて、町は日々発展し、本当

癸卯 清沢 博美
(新羽町自治会)

その時、私は利用者になつていくか、それともお手伝いをしていくかはわかりませんが、……。

工業地帯と農地が大半だった頃を思うと随分進歩致しました。のどかだった頃がなつかしく思います。さて、新羽の将来をいろいろ考えるとどんな新羽だったら良いのでしょうか。風俗の良くないもの等の進出は出来るだけ避け住み易く快適な町作りが望ましいと思います。たとえば、治安が良く、環境設備が整つて、災害時の対応が明確で、尚かつバリアフリーが組み込まれ、生活が安心して送れる事が一番大切だと思います。
新羽周辺は、未だ緑地も多く、野鳥や植物も多く見られます。開発も便利で良いのですが、歴史ある新羽を残しつつ、近代化に進んで行く事を希望します。

新羽の町について

卵年生



車いす



● 使用ご希望の方は、地区民生委員に申し出て下さい。
● 使用料は無料です。



1. 災害情報の収集、伝達、広報
2. 住民に対する避難・誘導
3. 被災者への応急救護活動
4. 警戒区域の設定及び一般市民等の整理
以上ですが女性特有のきめ細かさを生かし、新羽地区の防災意識の高揚に努めたいと思います。

女性消防団

山口 望月 雄子

赴任挨拶

新羽中学校副校長

神谷 正雄

創立二十一年目の新羽中に着任して半年が過ぎた。校庭には、楠・樺・山桜など樹木が多く、すばらしい学習環境である。

六月に私は二年生の自然教室に参加した。目的の一つに『みんなで行った行事を作り上げ成功させるすばらしさを体験する』とある。六十名の生徒達全員がそれぞれ役割をもち、見事にやりきっていた。保健食事係のまじめに「……一番苦労したのはカレーライスコンテストでした。司会進行・賞状準備・審査員の決定などは、当然の事。顔にすみを塗って演出し、その場を盛り上げようと努力しました。そのお陰で、たのしい野外炊事が出来たと思います。……」とある。各係りが十分に準備し、何回もリハーサルを重ねた結果であり、生徒達の努力と、それに応えた先生方の力だと思う。全ての行事がこうである。生徒達一人一人が主役になり、生き生きしている。

新羽中である。それは、地域行事の盛大な新羽フェスティバル、祭礼、健民祭などにも支えられている。生徒達は十分に地域行事を楽しんでおり、地域の強い結び付きによるものが、新羽中の大きな力になっていると感謝しています。

新羽小学校副校長

大内 正博

緑豊かな新羽の地、のびやかな心が育つ場所……

新羽のイメージは、そんなことから始まります。私が赴任してのこと、これも達の素直な姿がいたるところで見られました。

「おはようございます。」

「これ、落とし物です。」

「拾ってもらって、ありがとうございます」

次から次へ、子ども達の素直な言葉が伝わります。

社会状況の中の子ども達となら変わらぬ子ども達なのに、こんなにも違うのだろうかと思うほどです。

自然環境は子ども達にとって、とても大切なものです。新羽の地には沢山の宝があるのです。この宝を大切にしてこそ、現在失われ

てしまった「心のやさしさ、豊かさ」が育つのだと思います。

新羽小が取り組んでいる教育課程の中に、この地の自然と共生する体験学習が沢山盛り込まれています。これからの教育に必要不可欠として、大きな位置付けがされるはずで

自然と向き合い、その中から生まれる新羽つ子の「温かさ」を学校・家庭・地域が連携してつくりあげましょう。

就任一言

新羽町自治会会長

塩山 良三

平成十年四月に新羽町自治会会長に就任いたしました。

当自治会も住宅地に造成されてから三十年を経過し、当時活躍された方々が、今や皆様お年を召され、次代を担う各役員の殆んどが仕事を抱えながら地域の為に活動なさって居るのを拝見し、浅学非才の身ではございますが、四十年の会社勤めを終えた今、微力ながらお役に立てればと思ひ、お引受

けいたしました。至らぬ点が多々あると存じますがどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

巷に言われている様に高齢化、少子化が進み、一方金融破綻、企業の統廃合など日本経済は大きく変革しつつあります。この様な中で、福祉に携わる方々のご苦労に、心より感謝申し上げます。

また火災、地震、水害など不慮の広域災害に対しても地域の連帯なしに対応する事は出来ません。

先日、神戸消防分団長の講演を拝聴しましたが行政だけでは対応が遅れ、住民協力により延焼を阻止出来た事、その為には普段、皆で遊ぶ事、隣近所仲良くする事が大切な事と言うお話には大いに共感されました。新羽地区社会福祉協議会の今後益々のご発展をお祈りし就任の挨拶といたします。

新羽町内会会長

廣田 繁穂

◆ ◆ ◆

るよう努力され苦勞されているのを感じて頭のさがる思いです。昔のように隣近所で常に挨拶を交し「お米が足りないのので貸して。醤油がないので……」等の本当のつきあいが余り見うけられま

ことわざには「遠くの親戚より近くの他人」と云う言葉があります。隣近所の方々と親しくしてこそ、輪を広げそれが福祉にもつながり、共に励まし助け合う温かい心が通うようになるのではないでしょう

長い景気の低迷の時こそ人と人の関係を大切にして、お互いが理解と協力して行く事こそ大切としひしと痛感し責任の重大さをあらためて考えさせられます。

事務局より

港北区社会福祉協議会、十年度の賛助会費、年末たすけあい募金のご協力ありがとうございました。

町会名	年末たすけあい	賛助会費
南	166,500	205,000
中之久保	194,471	248,000
大竹	76,182	153,000
中央	185,000	248,000
自治会	177,600	180,000
新羽町	200,000	216,000
北新羽	200,581	228,000
計	1,200,331円	1,478,000円

以上募金の結果を報告致します。

うさぎの初雪

新羽小4年 瀧澤夏佳



障害者地域作業所

かしの木ホーム

所長 福西 浩之

日頃から地域の皆様のご協力とご支援には深く感謝を申し上げます。

障害者地域作業所とは、心身にハンディをもった人達が、地域の中で軽作業を通して働く喜びを経験し、社会参加ができるように援助する場所です。



障害をもつ人たちは一人ひとり個性があります。言葉のある人、ない人、身体で表現できる人、できない人、感情の表し方はさまざまです。そんな障害をもった人たちが作業所へきて、仲間といっしょに活動できる日は、社会とふれあい豊かな生活体験を積み重ねて、当にかけがえのない大切な時間なのです。

私達は、ノーマライゼーションの理念に沿い、障害をもった人もまたない人も地域の中で、ごくあたりまえに暮らせる地域社会の実現を心から願っています。

障害者地域作業所「かしの木ホーム」も地域の皆様に支えられ、新吉田町から新羽町に移転して早三年目になります。所員も二十名と大所帯となりましたが、毎日元気に頑張っています。これから宜しくお願い致します。

『ぬくもり』

スポーツ選手か芸能人？

南町内会 吉原 浩子

私事で恐縮ですが、今年三月に第二子を出産予定です。結婚して六月で十周年、もう無理かなーと思っていた矢先の妊娠でした。この出来事を一番喜んだのは、娘でした。弟夫婦に二人目が出来た時は、「おじちゃんの家ばかりに何で赤ちゃんが来るの？ずるい。」と言って泣いた程でしたので、妊娠が分かった時、主人よりも先に教えてあげました。

ところが、喜んでくれたのは、娘だけではなかったのです。親は勿論、近くに住んでいるまだ孫がいない伯母、九十二才になる祖母、友達等々、本当にありがたいです。『天災は忘れた頃にやってくる』と言いますが、天災ならぬ天才かもと大騒ぎ。カッコイイ子が生まれて来る。「やっぱりスポーツ選手が良いね、松坂君みたいな。」と、いろいろな意見が出てきました。えっ？それなら私は、ジャニーズの滝沢君系の男の子を期待してしまっ、私たちの子ならきつと……なんて、今から親ばか丸出しです。ともあれ、元気で無事に生まれてくれれば、これが何よりの幸せです。将来どんな職につくかは「本人に決めさせて上げたら？」とは娘の弁です。ごもっとも。

キャンプの思い出

新羽小学校にて

新羽町自治会 三橋 翼

昨年、八月一日、新羽小学校で子供会のキャンプでした。僕は、ペットボトル大会とキャンプファイヤーが、楽しかったです。

中之久保町内会 多田竜太郎

皆んなで作ったカレーライス、夜の肝だめし、ペットボトル大会での優勝、みんなとても面白かったです。

中央町内会 中山 大輔

自分達でテントを立てたり、食事を作るのは、初めてだったので、おいしいカレーが出来た時はとても嬉しかったです。来年も「肝だめし」をやりたいです。

北新羽町内会 植野悠希子

私が一番心に残っているのは、肝だめしです。最初のおぼけが後から追いかけて来た時には、びっくりして必死に逃げました。その他には、カレーを作って一番おいしいカレーに選ばれたのが、ちょっと自慢です。

南町内会 中村 あい

校庭にテントを張って、初めて

学校に泊った。こんなにいたのかなあ、と思う程、セミが鳴いていた。見回りの人のライトの影がゆれてお化けみたいで少しどきどきした。

民生・児童委員

一斉改選になる

総務 上岐 章臣

昨年の十一月末日、民生・児童委員一斉改選にあたり、地区の推薦により十二月一日厚生大臣より、新羽地区民生委員協議会には十七名の方が委嘱されました。

向う三年間、行政と地域とのパイプ役として、手の届かない地域の福祉の向上をはかるため、子供達もお年寄りも、障害をもった方たちも、誰もが地域の中で仲良く幸せに暮らすことが願いである手助けに頑張りたいと思います。

今度の改選により前総務の西山登氏が退任されまして、後任として私が引受けることになりました。民生委員は長いのですが、まだまだ若輩者です。副総務に小山米子さんが選ばれました。よろしくお願ひ致します。

急速に進む高齢化社会では核家族化により一人暮らし、寝たきり、痴呆性、障害者など家庭での介護は大変になります。悩みをお持ちの方、困りごとのある方、援助を必要とする方、民生委員は相談相手となり問題解決に援助をします。が、地域の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

尚、地区担当民生・児童委員を

紹介致します。

南町内会

望月 俊一

中之久保町内会

望月 要

大竹町内会

米山 進

中央町内会

杉浦 邦人

新羽町内会

中村 信男

新羽自治会

中丸 恵子

新羽町内会

七岐 章臣

北新羽町内会

角岡智恵子

新羽町内会

戸國 恵子

新羽町内会

鈴木ミツ子

北新羽町内会

桑畑 美春

新羽町内会

西山 雄

新羽町内会

萩原 正夫

新羽町内会

永井 喜男

主任児童委員

西村 淳

何卒よろしくお願ひ致します。

編集後記

厳寒の頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

「ふくしの和」第十四号発行に当り原稿をお願い致しました方々に厚くお礼申し上げます。

戴きました原稿を、編集委員一同が何度も輪読して、作者の主旨をなるべく損なわないように、変更致しました事をお許し下さい。今年（昭和）年、大いにはねて、良い年に致しましょう。（松村）

